

2025年8月21日

各 位

一般社団法人 全国労働金庫協会

全国 13 労働金庫の 2024 年度決算概況について

全国 13 労働金庫の 2024 年度（令和 6 年度）決算概況をとりまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします（以下の計数は特に断りのない限り、全国 13 労働金庫の合計値・平均値です）。

記

概要

2024 年度の当期純利益は前年度比 26 億円（8.15%）減少して 295 億円となりました（以下、増減は前年度または前年度末との比較）。

預金（譲渡性預金を含む。以下同じ。）は 688 億円（0.29%）減少して 23 兆 159 億円、貸出金は 3,726 億円（2.39%）増加して 15 兆 9,442 億円となりました。

自己資本比率は 1.12 ポイント上昇して 10.70%となりました。

（注 1） 会計年度：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日、計数は単体ベースのものです。

（注 2） 本文中の各表は添付資料をご参照ください。

1. 損益の状況 （表 1）

資金運用収益は、貸出金利息、預け金利息、有価証券利息配当金の増加により 77 億円（3.12%）増加となりました。資金調達費用は、預金利息の増加などにより 82 億円（105.68%）増加となりました。

役務取引等収益は融資関連手数料などの増加により 48 億円（27.68%）増加となりました。役務取引等費用は団体信用生命保険の保険料などの増加により 30 億円（6.13%）増加となりました。

その他業務収益は国債等債券売却益の増加などにより 10 億円（7.45%）増加となりました。その他業務費用は国債等債券売却損などにより 49 億円（35.32%）増加となりました。

経費は、ベースアップ等による人件費の増加及び労働金庫業態の共同オンライン・システムに係る運営費用の増加などにより、25 億円（1.54%）増加となりました。

業務純益は 53 億円（12.62%）減少して 369 億円となりました。

2. 預金の状況（表 2）

預金残高は 688 億円（0.29%）減少して 23 兆 159 億円となりました。

流動性預金は 1,342 億円（1.53%）増加して 8 兆 9,071 億円、定期性預金（譲渡性預金を含む）は 2,031 億円（1.41%）減少して 14 兆 1,088 億円となりました。

3. 貸出金の状況（表 2 及び表 4）

貸出金残高は 3,726 億円（2.39%）増加して 15 兆 9,442 億円となりました。

預貸率（期末）は貸出金（分子）は増加したものの、預金（分母）が減少したため、1.82 ポイント上昇して 69.27%となりました。

4. 労働金庫法及び金融再生法に基づく開示債権の状況（表 3）

2025 年 3 月末における労働金庫法及び金融再生法に基づく開示債権額（貸出金以外の与信も対象）のうち、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権（三月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権の計）の合計額は、50 億円（5.54%）増加して 966 億円となりました。

総与信残高に占める割合は、0.02 ポイント上昇して 0.61%となりました。

5. 主要利回等（表 4）

貸出金利回は 0.01 ポイント低下して 1.19%、預金利回は 0.03 ポイント上昇して 0.06% となりました。

預金貸出金利鞘（貸出金利回－（預金利回＋経費率））は 0.06 ポイント縮小して 0.41% となりました。

総資金利鞘（資金運用利回と資金調達原価率との差）は 0.01 ポイント縮小して 0.26% となりました。

以上